蒲生の子は蒲生で守り育てよう。地域の教育力を結集し蒲生東小学校を支援しよう。

東近江市	蒲生東小学校　地域学校協働本部	蒲生東小学校　学校運営協議会 ： □有　■無

地域学校協働本部概要
開始年度：平成２０年度　　地域学校協働活動推進員等数：１人　ボランティア登録数：２６人
■学習支援（授業補助、学力補充等）　■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備）　■学校行事支援
■子どもの安全確保、見守り　□部活動支援　□学校周辺環境整備　□学びによるまちづくり
■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育）　□地域行事への参加　■ボランティア・体験活動
■郷土学習　□その他［ あかね通学合宿ボランティア ］

■　事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
　■学　校　■地域学校協働活動推進員
　□行　政　□その他（　　）

■　地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
「生活科」や「社会科」「理科」「総合的な学習の時間」などで、地域教材をいかしたり、体験活動をもとにして学んだりする活動などで、地域住民ならではの経験をいかしたゲストティーチャーや学習支援・安全支援等を実施しています。
今年度は、１年生の生活科「いちにのさんぽ」、２年生の生活科「学校周辺探検」、総合的な学習の時間では、３年生の「昔の生活体験」、４年生の「福祉シニア体験」「高齢者交流会」、５年生の「田んぼの学習」、他に６年生の社会科「あかね古墳見学」・理科「地層見学」などへの支援をしています。

【１年生　いちにのさんぽ】

■　実施に当たっての工夫　（コロナ渦における工夫・対応等）
平成１３年に発足したボランティア「三弓会」を母体に伝統的な支援活動を継続しています。「できる人が、できるときに、できることを支援する」「人から強制されるのではなく、自発的意思に基づいて行う」「先生や子どもと一緒に活動し、学校をよりよくしていく活動にしよう」「ボランティア自身の経験や専門性を活かそう」という考えを基本に、少しずつ支援の輪を広げながら活動を続けています。
毎月定例のボランティア会議では、実施した活動について反省を出し合います。また、２～３か月先を見通して参加者を募っています。今年度は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の対策として、１学期は、活動が止まっていましたが、９月より外での活動から、徐々に再開してきました。感染リスクが大きい活動は実施を見合わせるものの、感染症対策がしっかりとれる活動については、できる範囲の中で実施してきました。

【４年生　高齢者交流会】

■　事業の成果
地域の方々の専門性や技能を生かした支援や安全への配慮をしていただき、豊かな学習活動を展開することができています。また、地域住民が学校の教育活動に関わることで、地域の絆が深まり教育力が向上し、郷土愛を培うことにもつながっています。
子どもたちは、ボランティアの専門的な知識や技能にふれたり、多様な体験の機会を得られたりすることによって、学習意欲が喚起され、自ら問題を解決しようとする意欲を高めることができています。ボランティアの方々とも顔なじみになり、親しみを感じながら安心して活動しています
子どもたちの学びを感じながら、蒲生東小学校の地域の資源や教育力を活かした特色ある教育活動の推進に寄与していることが、ボランティアの誇りでもあり、郷土愛を高めることにもなっています。
恒例となっている活動への支援については、参加されるボランティアの方々が内容をしっかりと把握して参加され、ボランティア会議で振り返りを行い、次年度の活動に生かすという流れができています。

【５年生　たんぼの子　脱穀体験】

■　事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
地域の良さを感じながら創り上げられてきた蒲生東小学校の学習活動を継承するため、新しいボランティアの参加や育成、ボランティアに求められる新たなニーズへの対応が課題となっています。毎月のボランティア会議への参加は難しいが、できるところで支援したいという方がおられると考えます。広くボランティアを募集できるシステム作りが期待されます。

■　その他（学校運営協議会との協働等）

■コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
　■校　長　■教　頭　■地域連携担当教員　□その他（　　）

報告書記入者（　校長　山田　淳　）